

令和 4 度 入試過去問題

彫刻専攻

総合型選抜

第 1 次選考：書類審査

出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考

試験科目 自己アピール資料審査

評価基準

想像力と造形力を総合的に判断する。

【自己アピール資料及び課題の内容】

A 自己アピール資料（活動記録・作品）

これまでの自主的な活動記録や作品を自由にまとめてください。

（サイズ：A3 サイズで提出枚数は自由）

B 課題（表現又は提案）

「舞う」をテーマに自由に発想し表現してください。

- ・立体作品として制作してください。
- ・提出は、3 方向から写した写真によることとし、それぞれ A4 サイズとします。
- ・作品に関するコメントを 400 字以内で記し、添付してください。

提出資料(A,B)は、A3 サイズのファイル 1 冊にまとめてください。提出枚数は自由。

第 2 次選考

試験科目 小論文

評価基準

論理的な思考力と文章表現力をみる。

試験問題：配付した資料の図は、戦後の日本を代表する彫刻家、柳原義達（1910 年～2004 年）の《犬の唄》（Song of the Dog）です。作風の異なる 3 つの像は、作品名は同じですが、別々の年代に制作されています。3 つの作品で作者が表現したかったことは何でしょうか？あなたの考えたことを、配付された回答用紙に 1200 字以内で記しなさい。

(図 1)1950 年作 《犬の唄》

(図 2)1961 年作 《犬の唄》

(図 3)1983 年作 《犬の唄》

図版『道標-生のあかしを刻む 柳原義達展』

発行：1995 年 柳原義達展実行委員会、読売新聞社、美術館連絡協議会

注意事項

辞書類の使用は不可。鉛筆（シャープペンシル）を使用。

出題の意図：対象を見て感じたことや考えたことを論理的にまとめ、文章で表現できるかを問う。

試験科目 面接

評価基準

立体造形制作への意欲・資質をみる。

内 容：第 1 次選考試験・自己アピール資料を参考に試問

令和4年度 合格者（入学者）作品

彫刻専攻

一般選抜

試験科目 素描

- ・ 木炭又は鉛筆、併用も可
- ・ 試験用紙(木炭紙、画用紙)を配付時に選択

評価基準

基礎的な描写力と表現力をみる。

モチーフ：ブルータス

配付物：木炭紙又は M 画用紙

問題文：台の上の石膏像を素描しなさい。





試験科目 塑造

評価基準

立体造形力と感性をみる。

モチーフ：パプリカ、ペットボトル

配付物：粘土(15 kg)、塑造板、心棒(金属)、心棒用木材、ベニヤ板(粘土硬さ調整用)、
針金(8番,10番)、しゅろ縄(太,細)、塑造道具等

問題文：「成長」をテーマに、ペットボトルとパプリカをモチーフとし、自由に塑造しなさい。

* ペットボトルとパプリカを加工しても構いません。



